

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和元年12月6日（金）

### 2 確認箇所

- ・2号機タービン建屋1階
- ・サブドレンピットNo. 208周辺（1/2号機開閉所前から確認）

### 3 確認項目

- （1）2号機原子炉圧力容器窒素封入量を監視している流量計の交換後の状況
- （2）1/2号機共用排気筒解体工事並びにサブドレンピットNo. 208の復旧状況

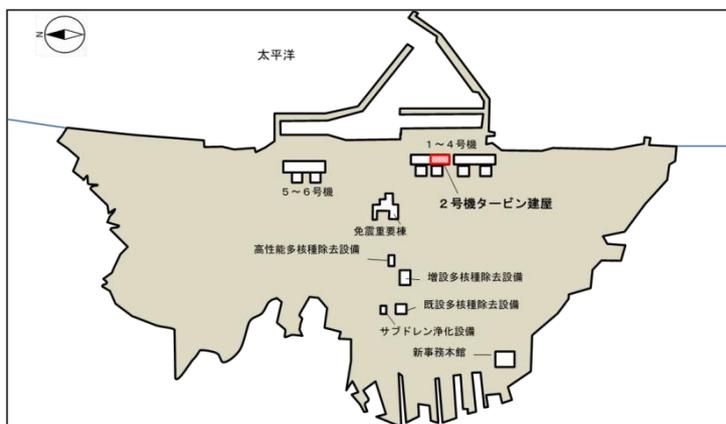
### 4 確認結果の概要

- （1）2号機原子炉圧力容器窒素封入量を監視している流量計の交換後の状況について

5月20日に2号機原子炉圧力容器への窒素封入量を監視していた流量計の測定範囲の下限値を誤認（正しくは $10\text{m}^3/\text{h}$ であったものを $5\text{m}^3/\text{h}$ と誤認）していたことが判明した。その後、東京電力は2号機原子炉圧力容器への窒素封入量を代替計器により監視していたが、7月4日に測定範囲の下限値が低い計器（旧：測定範囲 $10\sim 50\text{Nm}^3/\text{h}$ 、新：測定範囲 $6\sim 30\text{Nm}^3/\text{h}$ ）に交換した。（7月12日に現場確認実施済）

その後、窒素封入ライン取替工事に伴い、測定範囲の下限値がより低い計器（測定範囲 $0\text{Nm}^3/\text{h}$ 以上）が新たに設置されたことから状況を確認した。

- ・監視計器は2号機タービン建屋1階の西側の通路に設置されており、誤接触防止のため、重要計器である旨の標示が掲示されるとともに、金属製のフェンスが設置されていた。（図1、写真1）
- ・これまで使用されていた流量計（測定範囲 $6\sim 30\text{Nm}^3/\text{h}$ ）は取り外されていた。（写真2）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)



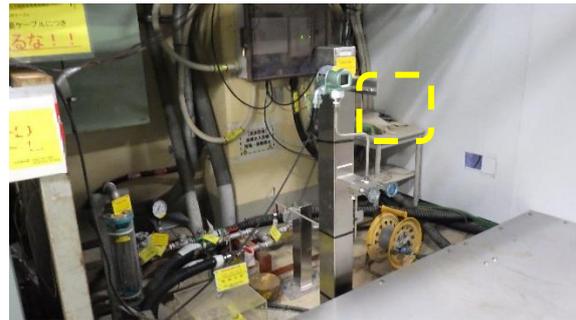
(写真 1 - 2)

新規の流量計が設置されている  
2号機流量調整ユニット



(写真 2 - 1)

前回 (令和元年 7 月 12 日撮影)  
(流量計撤去前)



(写真 2 - 2)

今回 (令和元年 12 月 6 日撮影)  
(流量計撤去後)

(2) 1/2号機共用排気筒解体工事並びにサブドレンピット No. 208 の復旧状況について

1/2号機共用排気筒の4ブロック目の解体が12月4日に完了し、12月5日からサブドレンピット No. 208 の復旧工事が行われていたことから当該工事の状況を確認した。また、解体された4ブロック目の仮置き状況を確認した。

- ・サブドレンピット No. 208 周囲では作業員が復旧工事を行っていた。

(写真 3)

- ・解体された4ブロック目の歩廊の手すりを重機で取り外す作業が行われていた。(写真 4)



(写真3)



(写真4)

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。